

～小型カツオの高次製品化と末端に向けた販売の取り組み～

有限会社マルチョウ（鹿児島県枕崎市）

目詰まりの現状

カツオは、世界的な魚食ブームの拡大により、相場が上昇していることから、節業者にとって原料の確保は重要な課題となっている。一方、枕崎港で水揚げされるカツオや、ソウダカツオ、サバ類等は旋網で漁獲されているが、小型のものは養殖用餌料に仕向けられるなど安価に取引されていることもあり、総体的に枕崎港への水揚量は減少している。

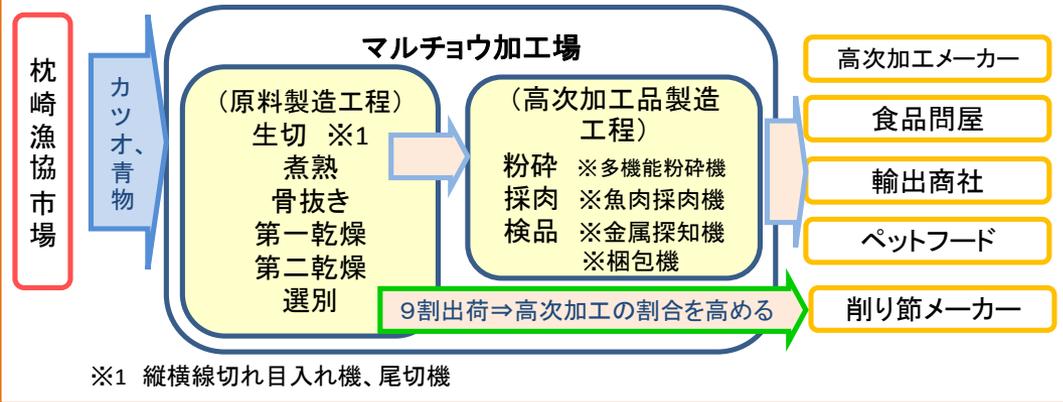
プロジェクトの概要

鯉節や雑節といった原料の製造だけでなく、定番商品であるカツオ節や花かつお等をさらに二次加工、三次加工を施した新たな商品を開発。開発した商品は問屋以外のより消費者に近いスーパー等での販売も試みた。

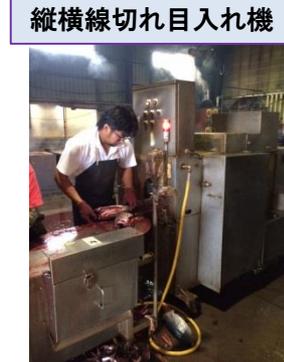
取組による成果

- 機械化による時間短縮、作業の効率化⇒余剰人員を他の部門に配置。
- 小型のカツオ節の粉碎によりエキス原料やだしパックの商品化。
- 作成したリーフレットにより高次加工品を消費者に直接PR。
- やわらかいカツオ節である「新さつま節」の高品質化。
- 出汁以外の使い方ができる商材として期待。

プロジェクトフロー



尾切機



縦横線切れ目入れ機



採肉機



新さつま節

(平成26年7月現在)